

歴史資料グループだより

第 1 9 号

発行日 平成 29 年 10 月 6 日

八戸市立図書館 歴史資料グループ

平成 27 年度の主な業務

●平成 27 年度市史講座

『新編八戸市史 通史編 I』の発刊を記念して、原始・古代・中世をテーマに全 7 回開催しました。根城南部氏の時代は八戸の歴史ファンの関心も高く、とても好評でした。



●立花京子氏より三浦哲郎関係資料寄贈

9 月に八戸市出身の芥川賞作家三浦哲郎さんと親交の深かった、故立花義康さんが収集した三浦哲郎さんに関する資料 856 点を、立花さんのご家族より八戸市にご寄贈いただきました。

10 月には寄贈いただいた資料の中の約 300 点を展示して、「三浦哲郎資料展」を開催しました。

●資料調査

2 月には、廿三日町の金子薬局さんが蔵を取り壊すということで、蔵の中の資料を調査しに行きました。

222 点の資料を寄贈していただき、資料の詳細は『八戸市史収集文書目録 第 14 集』に掲載されています。

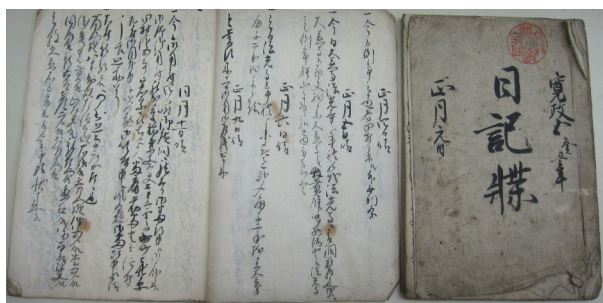


平成28年度の主な業務

●『概説 八戸三社大祭』発売

八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録へ向けた活動の一助とすべく、元八戸市博物館長の工藤竹久氏が執筆しました。江戸時代から現代までの八戸三社大祭の歴史や内容を、多くの写真や図版を使い、時代順にわかりやすく説明しています。市内各所にて1,750円（税抜）で好評発売中です。

また、28年度市史講座で三社大祭に関する講座を4回開催しました。



●遠山家日記県重宝指定

遠山家日記は八戸藩士遠山家の代々の当主が127年間書き継いできた日記です。江戸時代の武士個人の生活記録としての意義にとどまらず、八戸藩の政治の動きや、江戸時代の経済、社会の動きを知る上でも重要な史料です。

図書館では毎年書き下し文を『八戸藩遠山家日記』として発刊しています。

●古文書点検

図書館では毎年収蔵されている古文書の点検を行っております。

平成28年度は南部家文書や漢籍など、13文書11,572点の古文書の点検作業を行いました。

点検により精度の高い目録を作成するため、修正作業を行いました。

●古文書解読講習会

初心者を対象として古文書を読めるようになることを目的とした講座です。7月9日から9月10日までに全7回行いました。27年度に回数を増やしてほしいとの意見があったため2回増やしてみましたが、それでも熱心に勉強している方は少なく感じるようです。

●平成28年度市史講座の様子



発行・編集 八戸市立図書館歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道2-1

TEL・FAX 0178-73-3234

e-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp